

10	単元名	5 課 位置	2 / 2
----	-----	--------	-------

1 単元目標 位置を表す簡単な表現を使うことができる

2 単元の指導内容（本時 2 / 2）

課	単元	指導内容	主な表現と語彙（例）	字
5	9	<ul style="list-style-type: none"> 日本語数の言い方 位置関係を表す言葉 	右・左・上・下、「右、左 どっち？」 11・12・13・・・19・20	は・ひ・ふ
	10	<ul style="list-style-type: none"> 「～じゅう」という数の言い方 「～の中・～の左」などの言葉 	前・後ろ・中、「えんぴつ どこ？」「～した」「せんせいのえんぴつ、どこ？」 20・30・40・・・90・100	へ・ほ

3 本時の指導目標

- (1) 20 から 100 までの数の言い方を理解し、使うことができるようにする。
- (2) 「つくえのなか」など、位置を示す表現を理解して使うことができるようにする。

4 指導のポイント

- (1) 「～じゅう」という数の言い方の規則性を理解した上で、使わせる。
- (2) 「～のなか・～のひだり」などの言葉を使って宝探しゲームをさせる。

5 アクティビティ（活動）の方法及び留意点

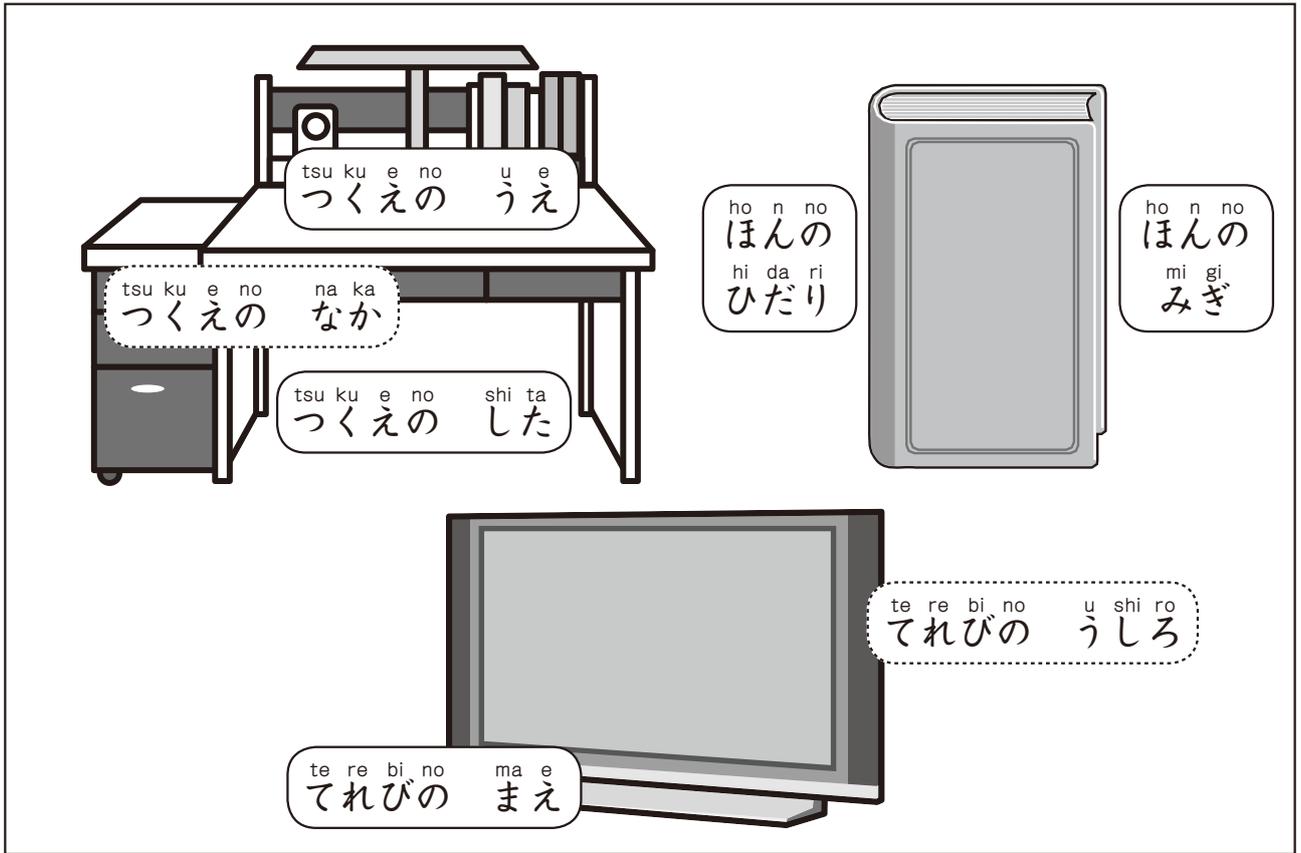
【活動】

- 本課では、10・20・30・・・100 の言い方を指導する。前時で1から100までの数の言い方を学習しているので、教師が、「1・2・3・・・10」、児童・生徒が、「11・12・13・・・20」と交互に数を読み上げて練習する。10ごとに交代したり、1ずつ交代したり、3ずつ交代したりして繰り返し練習を行う。
- あらかじめ教室内の数か所にお手玉などを隠し、「つくえのなか」「つくえのうえ」「ほんだなのなか」など、隠し場所を書いた紙を児童・生徒に渡して、お手玉の隠し場所を当てさせる「宝探しゲーム」を活用しても効果的である。
「ほんだな」など、物の名前が分からない場合は、「ほんだな なに？」と質問させて「これ、ほんだな」と示して説明する。慣れたら、役割を交替すると児童に「〇〇の上」などの言葉を書く練習をさせることができる。

6 本時の展開

	学習内容	指導内容等	留意点・教材
挨拶	始めの挨拶 前時の復習	始めの挨拶をする。 前時の復習をする。	
活動1	表現① じゅう・にじゅう さんじゅう・よ んじゅう	・10から20までのカードを示し言 い方を確認する。 「10」のカードの10の位に1、2、 3・・・のカードを重ねながら「じ ゅう、にじゅう、さんじゅう・・・」 と言い方を教える。	・40は「よんじゅう」 70は「ななじゅう」 90は「きゅうじゅう」で 教える。 ・カード取りゲーム
活動2	表現② 「つくえのなか」 「つくえのした」	・黒板に絵を描き、矢印で「前・後ろ」 を示す。 ・前時の左右ダンスに前・後ろを加 えて動きながら理解させる。 上・下・中・右・左を表す絵を掲 示し、説明する。 実際の机とお手玉を使って、 「つくえのなか」「つくえのし た」・・・と言いながらお手玉 を置き、「どこ？」と尋ね、「つく えのうえ」「つくえのした」などの 言い方を教える。	・教師は、児童・生徒と同じ 向きで動くようにする。 ・絵の掲示 【発展】 宝探しゲーム
活動3	文字 「へ・ほ」	・「へ・ほ」の書き方を練習する。 ・「へそ」「ほし」の言葉の読み書 きを練習する。 ・時間があれば「な行」と「は行」 までを復習する。	・ひらがな練習帳 【宿題】 ひらがな練習帳
挨拶	終わりの挨拶	○終わりの挨拶をする。	

7 教材・ワークシート



○ たからさがし (○○の^{u e}・○○の^{shita}・○○の^{naka}・○○の^{ma e}・○○の^{u shiro}..)

- ① の ○

- ② の ○

- ③ の ○

- ④ の ○

- ⑤ の ○

- ⑥ の ○

jû じゅう 10	に jû にじゅう 20	sa n jû さんじゅう 30	yo n jû よんじゅう 40
go jû ごじゅう 50	ro ku jû ろくじゅう 60	na na jû ななじゅう 70	hachi jû はちじゅう 80
kyû jû きゅうじゅう 90	hya ku ひゃく 100		

・ふくしゅう なんですか？

※物の名前が分からなかったら言って書かせる。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30